

通信教育部の教育内容

1. 幼児教育科の概要

順正短期大学通信教育部幼児教育科は、「学生一人ひとりの持つ能力を最大限に引き出し引き伸ばし、社会に有為な人材を養成する」という高梁学園建学の理念の下に育成することを目的とするとともに、私たちの生活をより豊かなものにする生涯教育にも対応した幅広いカリキュラム構成を行っています。

本通信教育部のカリキュラムは、次の2つの分野に分けられます。

基礎科目	<p>基礎科目においては、一般教養的知識や考え方を修得することを念頭におき、社会、情報、言語、体育の分野から6科目10単位を配置しています。具体的には、「法律に関すること」、「OA機器の操作」、「国語でのコミュニケーション能力」、「英語でのコミュニケーション能力」、「健康と運動に関すること」を修得させます。これらの知識や能力は保育士や幼稚園教諭のみに求められるものではなく、現代人の社会生活においても必要不可欠なものとなりつつあります。このように、これらの科目を修得することにより、社会的問題から発生する新たな国家施策やニーズが多様化する保育サービスに柔軟に対応できる人材養成に繋がる科目編成であります。</p>
専門教育科目	<p>近年、保育現場において保育士資格と幼稚園教諭の両資格を有する人材が求められています。そこで、専門教育科目に関しては、保育士資格と幼稚園教諭2種免許状取得に必要な科目を基本に据えたカリキュラムを編成しています。本学では幼児理解を深める為に保育の実践と理論に強い保育者の養成を目指しています。そのため演習科目である「図画工作Ⅰ」「幼児音楽Ⅰ」「幼児体育Ⅰ」「障害児保育Ⅰ」においては、地域の保育園児や幼稚園児との係わりをもち、幼児に対する理解を深め、指導力を身につけていきます。</p> <p>また、理論については、幼児のいじめや虐待、特別支援など、多発する保育・教育・福祉・心の問題を「社会福祉」「児童福祉」「教育原理」「養護原理」「保育原理」「障害児保育Ⅰ」「発達心理学」等の科目で学びます。さらに、「総合演習」では「いのち」「生きる」「人間」「健康」について、分析しながらレポートまたは論文としてまとめていきます。</p> <p>このように、本科は個々の専門科目を着実にマスターすることにより、しっかりと専門的理論と技術を身につけた保育士・幼稚園教諭を目指すものであります。なお、それぞれの資格を取得する場合の履修モデルを示し指導にあたる計画であります。</p>

個人個人の学習目的とペースに合わせた計画的な履修を行うことで、学習の幅はいくらでも広がります。一人で計画するだけでなく、本学教授陣や事務局スタッフも履修相談に応じますので、目的にあった理想的な履修計画をたてましょう。

2. 通信教育部の教育方法

本通信教育部の科目は、次の4つの授業形態により各科目の学習が進められます。

テキスト科目（印刷授業）

本学より郵送されるテキスト教材を主として、在宅での自己学習を随時進めていく、オーソドックスな通信教育の科目です。規定数の添削課題を提出して合格した後、科目単位認定試験を受験して合格することにより、単位を修得することになります。本通信教育部における大半の科目はこのテキスト科目です。

※学習効果等を総合的に検討した上で、一部の科目については合同で開講することがあります。

※詳細についてはお問い合わせください。入学後にご案内します。

スクーリング科目（面接授業）

スクール、つまり学校で授業を受ける科目になります。教員や他の学生と直接ふれ合い、話し合う対面形式の授業方法によって、テキストだけでは補いきれない、より実践的な知識と技術の学習ができます。ほとんどのスクーリング科目は2日間の集中講義です。

本通信教育部では、本学及び地方スクーリングを行います。

スクーリング科目の科目修了試験は原則としてスクーリング授業時間内に行います。

テキスト・スクーリング科目（併用授業）

テキストによる授業とスクーリング授業を組み合わせることで、より効果的な理解と実践能力を身に付けることができる授業形態です。

※地方会場のスクーリングは会場費として別途1単位につき3,000円が必要。

3. 科目単位認定試験について

テキスト科目は添削課題合格後、科目単位認定試験を実施します。会場は、本学会場を中心に岡山駅前キャンパス、広島会場で実施を予定しております。

4. 通信教育部幼児教育科カリキュラム

教育課程等の概要					教育課程等の概要				
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数	授業形態	科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数	授業形態
基礎科目	法学	1	2	T	専門教育科目	養護内容	1	1	S
	情報処理入門	1	2	S		幼児音楽Ⅰ	1	2	TS
	国語表現法	1	2	T		幼児音楽Ⅱ	2	2	T
	英語コミュニケーション	1	2	S		図画工作Ⅰ	1	2	TS
	体育講義	1	1	T		図画工作Ⅱ	2	2	T
	体育実技	1	1	S注1		幼児体育Ⅰ	1	2	TS
専門教育科目	社会福祉	2	2	T		幼児体育Ⅱ	2	2	T
	社会福祉援助技術	2	2	TS		器楽	2	2	TS
	児童福祉	1	2	T		保育実習指導	2	1	S
	保育原理	1	4	T		保育実習Ⅰ（保育所）	2	2	J
	養護原理	1	2	T		保育実習Ⅰ（施設）	2	2	J
	教育原理	1	2	T		保育実習Ⅱ（保育所）	2	2	J
	発達心理学	1	2	T		保育実習Ⅲ（施設）	3	2	J
	教育心理学	2	2	T		総合演習	3	2	TS
	小児保健	1	4	T		教育基礎論	1	2	T
	小児保健実習	1	1	S注1		臨床心理学	3	2	T
	小児栄養	1	2	TS		幼児理解	2	2	T
	精神保健	3	2	T		保育指導法	2	2	T
	家族援助論	3	2	T		教職論	2	2	T
	保育内容（健康）	2	1	T		教育行政学	2	2	T
	保育内容（環境）	2	1	S	教育課程総論	1	2	T	
	保育内容（人間関係）	3	1	T	教育方法論	2	2	T	
	保育内容（言葉）	3	1	T	教育相談	2	2	T	
	保育内容（表現）	2	1	S	教育実習指導	3	1	S	
	保育内容（総論）	2	1	S	教育実習	3	4	J	
	乳児保育	1	2	TS					
障害児保育Ⅰ	1	1	S						
障害児保育Ⅱ	2	2	T						

T…テキスト科目／S…スクーリング科目／TS…テキスト科目＋スクーリング科目／J…実習

注1…「体育実技」・「小児保健実習」については学内実習です。ただし通常のS科目の2倍の時間数であるので、スクーリング履修料は2単位扱いとなります。

5. 資格関係科目一覧（幼稚園教諭二種免許状）

（教科に関する科目）

免許法施行規則に定める科目区分	科目名	免許法施行規則に定める単位数	単位数	開講年次	授業形態
国語	国語表現法	4	2	1	T
音楽	幼児音楽Ⅰ		2	1	T S
	幼児音楽Ⅱ		2	2	T
図画工作	図画工作Ⅰ		2	1	T S
	図画工作Ⅱ		2	2	T
体育	幼児体育Ⅰ		2	1	T S
	幼児体育Ⅱ		2	2	T

（教職に関する科目）

免許法施行規則に定める科目区分	科目名	免許法施行規則に定める単位数	単位数	開講年次	授業形態
教職の意義等に関する科目	教職論	2	2	2	T
教育の基礎理論に関する科目	教育原理	4	2	1	T
	教育心理学		2	2	T
	教育行政学		2	2	T
教育課程及び指導法に関する科目	教育課程総論	12	2	1	T
	保育指導法		2	2	T
	保育内容（健康）		1	2	T
	保育内容（環境）		1	2	S
	保育内容（人間関係）		1	3	T
	保育内容（言葉）		1	3	T
	保育内容（表現）		1	2	S
	保育内容（総論）		1	2	S
	教育方法論		2	2	T
生徒指導、教育相談、及び進路指導等に関する科目	幼児理解	2	2	2	T
	教育相談		2	2	T
総合演習	総合演習	2	2	3	T S
教育実習	教育実習指導	5	1	3	S
	教育実習		4	3	J

*教員免許の取得においては、基礎資格として学位を取得（卒業）のこと

6. 資格関係科目一覧（保育士養成課程）

（教養科目）

告示による教科目	科目名	告示による単位数	単位数	開講年次	授業形態
外国語、体育以外の科目	法学	6	2	1	T
	情報処理入門		2	1	S
	国語表現法		2	1	T
外国語	英語コミュニケーション	2	2	1	S
体育（講義） （実技）	体育講義	1	1	1	T
	体育実技	1	1	1	S

* 体育講義、体育実技を含み8単位以上修得のこと

（告示別表第1による教科目）

告示による教科目	科目名	告示による単位数	単位数	開講年次	授業形態
社会福祉	社会福祉	2	2	2	T
社会福祉援助技術	社会福祉援助技術	2	2	2	T S
児童福祉	児童福祉	2	2	1	T
保育原理	保育原理	4	4	1	T
養護原理	養護原理	2	2	1	T
教育原理	教育原理	2	2	1	T
発達心理学	発達心理学	2	2	1	T
教育心理学	教育心理学	2	2	2	T
小児保健	小児保健	5	4	1	T
	小児保健実習		1	1	J
小児栄養	小児栄養	2	2	1	T S
精神保健	精神保健	2	2	3	T
家族援助論	家族援助論	2	2	3	T
保育内容	保育内容（健康）	6	1	2	T
	保育内容（環境）		1	2	S
	保育内容（人間関係）		1	3	T
	保育内容（言葉）		1	3	T
	保育内容（表現）		1	2	S
	保育内容（総論）		1	2	S
乳児保育	乳児保育	2	2	1	T S
障害児保育	障害児保育 I	1	1	1	S
養護内容	養護内容	1	1	1	S
基礎技能	幼児音楽 I	4	2	1	T S
	図画工作 I		2	1	T S
	幼児体育 I		2	1	T S
保育実習	保育実習指導	5	1	2	S
	保育実習 I（保育所）		2	2	J
	保育実習 I（施設）		2	2	J
総合演習	総合演習	2	2	3	T S

* 告示別表第1による教科目は、すべて修得のこと

(告示別表第2による教科目)

告示による教科目	科目名	告示による 単位数	単位数	開講年次	授業形態
保育の本質・目的の 理解	教育基礎論	17 単 位 以 上	2	1	T
保育の対象の理解 に関する科目	臨床心理学		2	3	T
	幼児理解		2	2	T
保育の内容・方法の 理解に関する科目	保育指導法		2	2	T
	障害児保育Ⅱ		2	2	T
基礎技能	幼児音楽Ⅱ		2	2	T
	図画工作Ⅱ		2	2	T
	幼児体育Ⅱ	2	2	T	
	器楽	2	2	T S	
保育実習	保育実習Ⅱ (保育所)	2	2	2	J
	保育実習Ⅲ (施設)		2	3	J

* 保育実習2単位 (いずれか1科目) を含み合計10単位以上修得のこと